『健やかに生きがいを持って生活するためのビジョン』を達成するための取組の全体作 参考資料6-2 【 進 捗 状 況 を 示 す 指 標 】 【ビジョン(大目標)】 【中目標】 【小目標】 山形市が目指す未来像は? 具体的な目標は? 目標を達成するための取組は? 参加者等への影響(効果) 施策の展開状況 地域全体への影響(改善) 視点 [:社会参加 評価事業指標2(2)② ニーズ調査問5(3) ニーズ調査問5(2) 高齢者が社会の中で役割 地域支え合いボランティア活動(総合事業訪 社会参加活動にお世話役としての参加意向 社会参加活動に参加者としての参加意向が 「住民支え合い活動」の立ち上げと活動の継続を を持って活動的に暮らして ある高齢者の増加 支援する 問型・通所型サービスB、訪問型サービスD) がある高齢者の増加 いる の活動数 (状態) ニーズ調査問4(18)、問6(6) ニーズ調査問2(6) 様々な地域活動の場がある。 シルバー人材センターの会員数 ・生きがいがある高齢者の増加 地域活動やボランティアへの参加、就労等を支援 週2回以上外出している高齢者の増加 ・多くの高齢者が地域活動に 介護支援ボランティアの登録者数 ・友人・知人と会う頻度の多い高齢者の増加 する 参加している。 <指標> 【介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査項目問5(1)】 視点 Ⅰ・視点 Ⅱ のどちらにも効果がある小目標 ①社会参加活動への参加割 ニーズ調査問2(1)~(3) 合を高める ニーズ調査問2(6)、問4(4)~(8) 短期間の運動機能向上プログラムにより、生活行 ・階段を手すり等をつたわらず昇っている高齢者の増加 週2回以上外出している高齢者の増加 総合事業の通所型サービス新規利用者に占 為を改善し、生活を継続できるよう、通所型サービ ・椅子に座った状態から何もつかまらず立ち上がって める通所型サービスCの利用者の割合 I IADLに問題がない高齢者の増加 スCの利用を促進する いる高齢者の増加 15分位続けて歩いている高齢者の増加 ニーズ調査問2(6)、問3(8)、問4(4)~(8) ニーズ調査問6(6)、問2(4) Ⅰ 週2回以上外出している高齢者の増加 通所型サービスCの利用後に地域の居場所に参 通所型サービスC利用後に様々な社会参加 」 友人・知人と会う頻度の多い高齢者の増加 「Ⅱ」・誰かとともに食事をする機会のある高齢者の増加 高齢者が自らの能力を 加できるよう支援する につながった高齢者の割合 Ⅱ 過去1年間に転倒した経験がない高齢者の増加 •IADLに問題がない高齢者の増加 活かしながら、住み慣 れた地域で支え合い、 ニーズ調査問2(6)、問3(8)、問4(4)~(8) いきいきとした暮らしが ニーズ調査問6(6)、問2(4) 評価事業指標1(2)①② │ ェ │ 週2回以上外出している高齢者の増加 できている 「住民主体の通いの場」の立ち上げと活動の継続 」 友人・知人と会う頻度の多い高齢者の増加 □ ・誰かとともに食事をする機会のある高齢者の増加 通いの場の箇所数、参加者数 を支援するとともに、リハビリテーション専門職の Ⅱ | 過去1年間に転倒した経験がない高齢者の増加 ・IADLに問題がない高齢者の増加 派遣等による充実を図る ニーズ調査問6(6)、問2(8)、問2(8)① ニーズ調査問2(6)、問3(8) 訪問型サービスDの活動数、福祉有償運送の 週2回以上外出している高齢者の増加 社会参加や日常生活の継続に有効な移動支援や 外出支援を進める 実施団体数 Ⅱ |誰かとともに食事をする機会がある高齢者の増加 〒 ・外出を控えている高齢者の減少 外出手段がないことを理由に外出を控えている 高齢者の減少 視点Ⅱ:介護予防、生活支援 ニーズ調査問2(1)~(3)、問3(2)~(5) 評価事業指標2(2)(5) ニーズ調査問4(4)~(12) ・階段を手すり等をつたわらずに昇っている高齢者の増加 高齢者が住み慣れた地域 ・IADLに問題のない高齢者の増加 自立支援型地域ケア会議の効果の拡大を図る 自立支援型地域ケア会議の検討事例数 ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がって ・知的能動性に問題のない高齢者の増加 の中でいきいきと暮らして いる高齢者の増加 ・15分位続けて歩いている高齢者の増加 (状態) - 半年前に比べて固い者が食べにくい高齢者の減少 ・多くの高齢者が介護予防に ・お茶や汁物等でむせる高齢者の減少 取りんでいる。 ・口の渇きが気になる高齢者の減少 日常生活に必要な機能が維 ニーズ調査問4(4)~(12) 持できている。 評価事業指標1(2)③ ニーズ調査問4(12)、問2(4) | ・IADLに問題のない高齢者の増加 <指標> 地域の実情やニーズに応じた効果的な介護予防 ・健康に関心がある高齢者の増加 介護予防教室の開催回数、参加者数 【介護予防·日常生活圏域 ・知的能動性に問題のない高齢者の増加 教室を実施する ・過去1年間で転倒した経験がない高齢者の増加 ニーズ調査 各判定項目】 ①高齢者の機能低下等のリ 総合的な評価指標 スクの出現率を下げる ニーズ調査問7(1) ①主観的健康感が向上した高齢者の割合の増加(「とてもよい」「まあよい」の回答の割合の増加) ニーズ調査問7(2) ②主観的幸福感が向上した高齢者の割合の増加(平均点を超える回答の割合の増加)